



新潟電子工業株式会社

CINSJ0037-N

施工・取扱説明書

保管用

LIBERTASOLIS®

W60 シームレスライトシリーズ (マグネット付けタイプ)

●製品仕様・型番

区分	器具長さ ※1	光色	器具 型番 ※2	適合電源			
				調光		非調光	
				PWM制御	DALI制御	定格出力	低出力
L1200	1195mm (熱膨張3mm含む)	5700K	LSP60120005-*10*	LSPT153MP	LSPT152MD	LSPT171MNM	LSPT170MNL
		5000K	LSP60120005-*20*				
		4000K	LSP60120005-*30*				
		3500K	LSP60120005-*70*				
		3000K	LSP60120005-*40*				
		2700K	LSP60120005-*50*				
		調色(2700~5000K)	LSP60120005-*60*				
L1000	1000mm (熱膨張3mm含む)	5700K	LSP60100005-*10*	LSPT153MP	LSPT152MD	LSPT171MNM	LSPT172MNL
		5000K	LSP60100005-*20*				
		4000K	LSP60100005-*30*				
		3500K	LSP60100005-*70*				
		3000K	LSP60100005-*40*				
		2700K	LSP60100005-*50*				
		5000K	LSP60100005-*20*				
L900	900mm (熱膨張3mm含む)	5700K	LSP60090005-*10*	LSPT153MP	LSPT152MD	LSPT173MNM	LSPT172MNL
		5000K	LSP60090005-*20*				
		4000K	LSP60090005-*30*				
		3500K	LSP60090005-*70*				
		3000K	LSP60090005-*40*				
		2700K	LSP60090005-*50*				
		5000K	LSP60090005-*20*				
L800	800mm (熱膨張2mm含む)	5700K	LSP60080005-*10*	LSPT153MP	LSPT152MD	LSPT173MNM	LSPT172MNL
		5000K	LSP60080005-*20*				
		4000K	LSP60080005-*30*				
		3500K	LSP60080005-*70*				
		3000K	LSP60080005-*40*				
		2700K	LSP60080005-*50*				
		5000K	LSP60080005-*20*				

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず有資格者の方が実施してください。

※1 器具長さの数値は熱膨張による増加分を含んだ数値です。器具を連結する際はこの器具長さ間隔で配置してください。

※2 器具型番の末尾は演色性の仕様によって異なりますので用途に応じてお選びください。

[1 = Ra(83) 、 2 = Ra(93)]

はじめに

取扱説明書を読むにあたって

- この取扱説明書は、将来予告なしに変更することがあります。
- 製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
- この取扱説明書につきまして、万が一不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- この取扱説明書の一部または全部を無断で複写、転載することは固くお断りします。

安全に関するご注意



警告

誤った取り扱いをした場合、死亡または重傷を負う恐れが高いものを示しています。

- 必ず専用の器具、電源を組み合わせで使用してください。

・落下、感電、火災の原因となります。

- 器具の取付けは説明書に従い確実に行ってください。

・落下、感電、火災の原因となります。

- 器具、電源の分解、改造はしないでください。

・落下、感電、火災の原因となります。

- 表示された電源電圧、周波数で使用してください。

・感電、火災の原因となります。

- この器具は断熱施工不可です。

断熱材、防音材をかぶせた状態で使用しないでください。

・火災の原因となります。

- この器具は水平天井直付け用です。

傾斜天井、変形天井へは設置しないでください。

・落下、破損の原因となります。

- 石膏ボード以外の天井材料には取付しないでください。

止むを得ず取付される場合は事前にお問い合わせください。

・落下、破損の原因となります。

- 異常を感じた場合は直ちに電源を切り、工事店にご相談ください。

・落下、感電、火災の原因となります。

- 表示された電源電圧（定格電圧 $\pm 6\%$ ）・周波数で使用する。

・火災、感電、故障の原因となります。

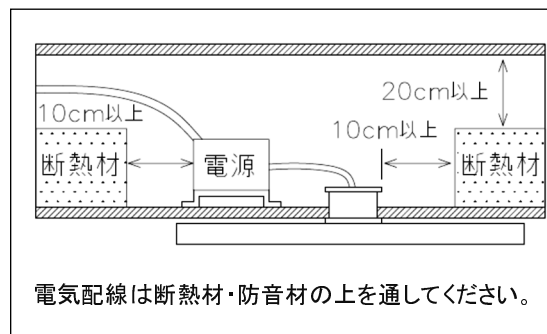
- 器具のカバーは樹脂製のため、取り扱いに注意してください。

万一破損した場合、すぐに電源を切り交換してください。

・ケガ、感電の原因となります。

- ペースメーカーをご使用になられている方は器具を埋込部位の近くに寄せる行為は避けてください。

磁器がペースメーカーの作動に影響を及ぼす恐れがあります。



注意

誤った取り扱いをした場合、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性があるものを示しています。

- 一般屋内器具です。水がかかる場所、湯気、湿気が多い場所、直射日光が当たる場所、風が強い場所、衝撃や振動が加わる場所、腐食性ガスが発生する場所では使用しないでください。

・落下、感電、火災の原因となります。

- 周囲温度 5~35℃、湿度 30~85%の範囲内で使用してください。

・指定外の温度、湿度で使用すると故障の原因、性能低下、短寿命の原因となります。

- 点灯中や消灯直後は器具やパネルが高温のため、触らないでください。

・やけどの原因となります。

- 照明器具の寿命は使用条件、使用環境で異なりますが、数年に1回は専門家(工事店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。

・火災、感電、故障の原因となります。

- 器具の近くや下にストーブやガス機器などの温度が高くなるものを置かないでください。

・火災の原因となります。

- 器具と電源はコネクタで確実に接続してください。

・落下、火災の原因となります。

- 器具の隙間などに針金などを差し込まないでください。

・感電、破損の原因となります。

- 器具の取付け取外しは手袋などの保護具を用いて作業を行ってください。

・ケガの原因となります。

- 器具を造営材へ取付ける際は、器具の突起部を避け一直線上に精度良く取り付けてください。

・落下の原因となります。

- 安全の為に必ず落下防止ワイヤーを強固な造営材へ取り付けてください。

・落下、破損、ケガの原因となります。

- 器具を反らしたり、ねじったりした状態で取り付けしないでください。

・落下、破損の原因となります。

- 器具を取り付ける際に強い吸引力が働きますので、体の一部を挟まない様に注意してください。
・ケガの原因となります。
- ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は器具から離してご使用ください。
雑音が入る等、正常に動作しない場合があります。
- 同時通訳機等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。
事前に確認頂き、対策を講じてください。
- 点灯中にビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入る場合がございます。
- 磁石をパソコンやディスプレイ、時計などの磁器の影響を受けやすい電子機器に近づけないでください。
磁器の影響により、故障の原因となります。

使用上のご注意

- コネクタ接続の際は、必ず電源を切ってから行ってください。
- LED 光源にはバラツキがあるため、同じ品番の商品でも明るさや色味が異なる場合があります。
- 点灯中、LED 光源を直視しないでください。
- 点灯直後、消灯直後にプラスチックの伸び縮みによる音なりが発生する場合があります。
- コントローラとの組合せにより、明るさ調整することができます。
PWM 制御の場合は明るさを約 5～100%の範囲でご使用いただけます。
DALI 制御の場合は明るさを約 0.1～100%の範囲でご使用いただけますが、
器具を連結して設置される場合、明るさを絞った際に LED 光源のバラツキにより隣接する器具と明るさバラツキが発生する可能性がございます。
DALI 制御で器具を連結してご使用される場合には明るさを約 5～100%の範囲を目安にご使用ください。
本電源に推奨するコントローラ、DALI 環境は下記となります。
(PWM 制御方式で調光・調色を行う場合は調光器が 2 台必要となります。)
※コントローラは推奨であり動作を保証するものではありません。
必ずお客様の方で使用される実機確認の上ご使用ください。

PWM 対応コントローラ品番	
コイズミ照明社製	AE51789E(AC100V 用)
	AE51790E(AC200V/242V 用)

DALI 対応コントローラ品番	
WAGO 社製	750-881 + 753-647(Codesys 使用)+787-1007
Helvar 社製	910 ルーター(Designer 使用) 510USB インターフェース(Tool box 使用) 単色モデルのみ対応

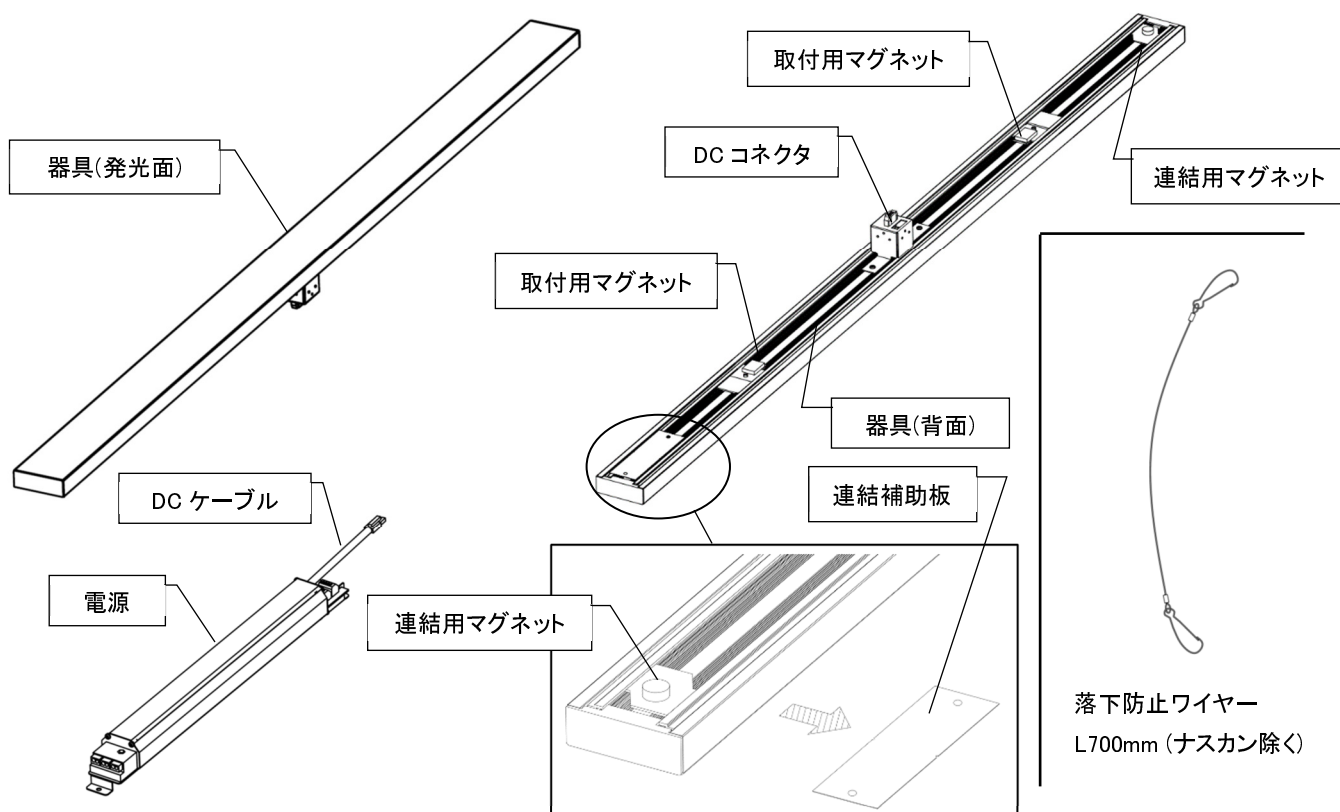
※DALI 対応規格: IEC62386-102 ed 2.0 及び 207 ed 1.0

- コントローラの注意事項についてはコントローラの説明書をご確認ください。
- 接続可能な器具台数は器具の定格電圧によって異なります。
詳細はコントロールの仕様図、取扱説明書をご確認ください。
※コントローラの定格容量と器具の定格を事前にご確認ください。
- コントローラの結線はコントローラの取扱説明書をご確認ください。
- 電源線は低圧屋内配線工事、制御信号線は弱電流配線工事が必要です。
- 制御信号線は電源線と束ねないでください。誤動作の原因となります。
- 電線管を使用する場合は、電源線と制御信号線を同じ管内に入れないでください。
- 器具内に虫が侵入する場合があります。
- 器具背面に貼付けてあるテープは器具内部への異物の侵入を抑制するものですので剥がさないでご使用ください。
- 器具のお手入れの際には必ず電源を切ってください。
器具は水、または中性洗剤を用いて汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
- スイッチを設置側に取り付けた場合、消灯後も薄暗く発光する場合がありますので、必ず非接地側に取り付けてください。
接地側の無い電源では両切りスイッチをおすすめします。
- 調色タイプの器具は 2 色の LED を混光させ 2700K～5000K の調色を行っています。
アレンジ調色以外の器具とは同じ色温度でも光色が若干異なります。予めご了承ください。
DALI 制御モデルは明るさを約 0.1%まで設定可能ですが、明るさを 5%未満でお使い頂く場合、
調色時に色温度バラツキが発生する可能性がございます。
又、調色設定を急変した場合、調色動作が遅延する場合がございます。

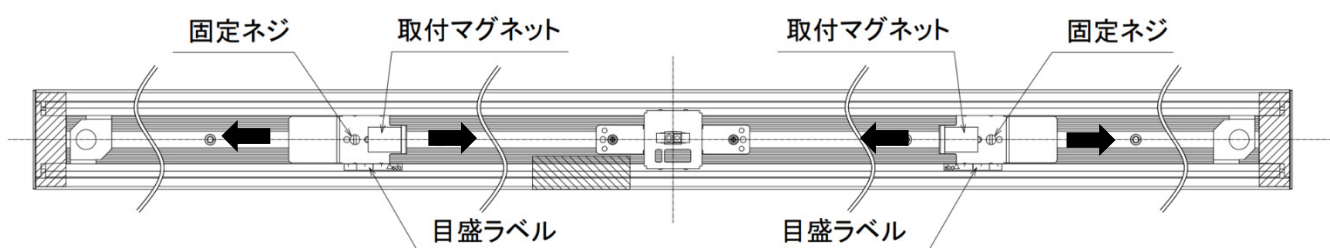
LED 光源について

- 明るさが 70%になるまで平均約 40000 時間です。(Ta=25°C環境下)
- LED 素子は白熱灯・蛍光灯などの一般光源に比べバツキがあるため発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。

各部のなまえと付属部品



◆取付用マグネット位置について



- ・この器具は器具取付用マグネット間隔を矢印方向へ調整することが可能となっております。マグネットを固定しているネジを緩めてマグネットの位置を調整してください。(上図のマグネット間隔は L1200 タイプの 600mm になります。)
- 調整後は必ず 0.12N・m のトルクで固定ネジを締めてください。
- ・マグネットは設置材にマグネット接着面の全面が接する様にご使用ください。

区分	マグネット 間隔(出荷時)	マグネット ※1 間隔調整範囲
L 1 2 0 0	600mm	600～650mm ※2
L 1 0 0 0	500mm	500～660mm
L 9 0 0	450mm	450～560mm
L 8 0 0	400mm	400～470mm

※1. マグネットの調整範囲の目印として器具背面に目盛ラベルが貼ってありますので目盛ラベルの間隔範囲を超えての使用はしないで下さい。

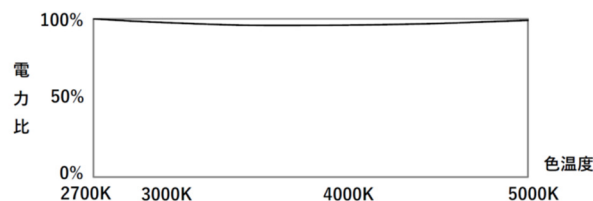
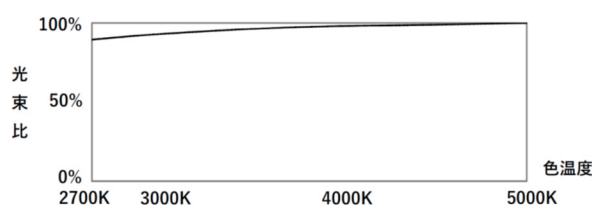
※2. 調色モデルは調整範囲上限が 630mm となります。

製品仕様

(Ta=25°C)

区分	電源	定格電圧	周波数	入力電圧	入力電流	消費電力
L1200	調光モデル	100/200/242V	50/60Hz	100V	0.46A	44.5W
				200V	0.24A	43.6W
				242V	0.21A	43.7W
	調光・調色モデル			100V	0.52A	50.2W
				200V	0.27A	49.6W
				242V	0.24A	49.6W
	非調光 定格出力モデル			100V	0.46A	44.5W
				200V	0.24A	43.6W
				242V	0.21A	43.7W
	非調光 低出力モデル			100V	0.28A	27.3W
				200V	0.15A	27.5W
				242V	0.13A	28.0W
L1000	調光モデル	100/200/242V	50/60Hz	100V	0.39A	37.6W
				200V	0.22A	37.6W
				242V	0.19A	37.4W
	非調光 定格出力モデル			100V	0.39A	37.6W
				200V	0.22A	37.6W
				242V	0.19A	37.4W
	非調光 低出力モデル			100V	0.23A	22.5W
				200V	0.13A	23.0W
				242V	0.12A	23.4W
L900	調光モデル	100/200/242V	50/60Hz	100V	0.35A	33.5W
				200V	0.19A	33.5W
				242V	0.17A	33.5W
	非調光 定格出力モデル			100V	0.35A	33.5W
				200V	0.19A	33.5W
				242V	0.17A	33.5W
	非調光 低出力モデル			100V	0.21A	20.0W
				200V	0.12A	20.5W
				242V	0.11A	21.0W
L800	調光モデル	100/200/242V	50/60Hz	100V	0.31A	29.3W
				200V	0.17A	29.3W
				242V	0.15A	29.5W
	非調光 定格出力モデル			100V	0.31A	29.3W
				200V	0.17A	29.3W
				242V	0.15A	29.5W
	非調光 低出力モデル			100V	0.19A	17.7W
				200V	0.11A	18.4W
				242V	0.11A	18.9W

●調光・調色モデル 色温度－光束、電力特性



1年に1回は「安全チェックシート」に基づき点検してください。
 3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
 点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合がございます。

取付方法 ① 造営材へ直接取り付ける場合

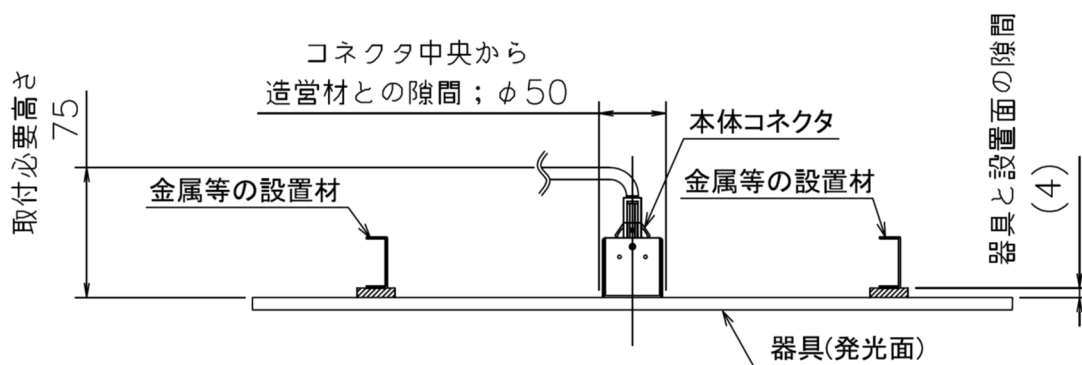


警告

- 器具の取付け取外しの際は工事店に依頼し、必ず電源を切ってください。
- 器具の取付けは説明書に従い確実に行ってください。

1. 取付け前の確認を行う。

- ・ 器具質量 0.85kg、電源質量 0.5kg に耐える様、取付部の強度を確保してください。
不備がありますと器具落下の原因となります。
- ・ 器具、電源が適合した組合せかを確認してください。
- ・ 器具のマグネット間隔に合わせて取り付ける金属等を準備してください。
- ・ 器具を取り付ける金属等の野縁材の設置面は凹凸、歪み、汚れ等、吸着力が低下する状態でない事を確認してご使用ください。
- ・ 器具の取付けに高さ 75mm、本体コネクタ部から $\phi 50$ mm は造営材と隙間をあけてください。
※L900mm タイプは本体コネクタが器具の中心ではございません。
必ず仕様図をご確認頂き、本体コネクタ部を中心に造営材との隙間を確保してください。

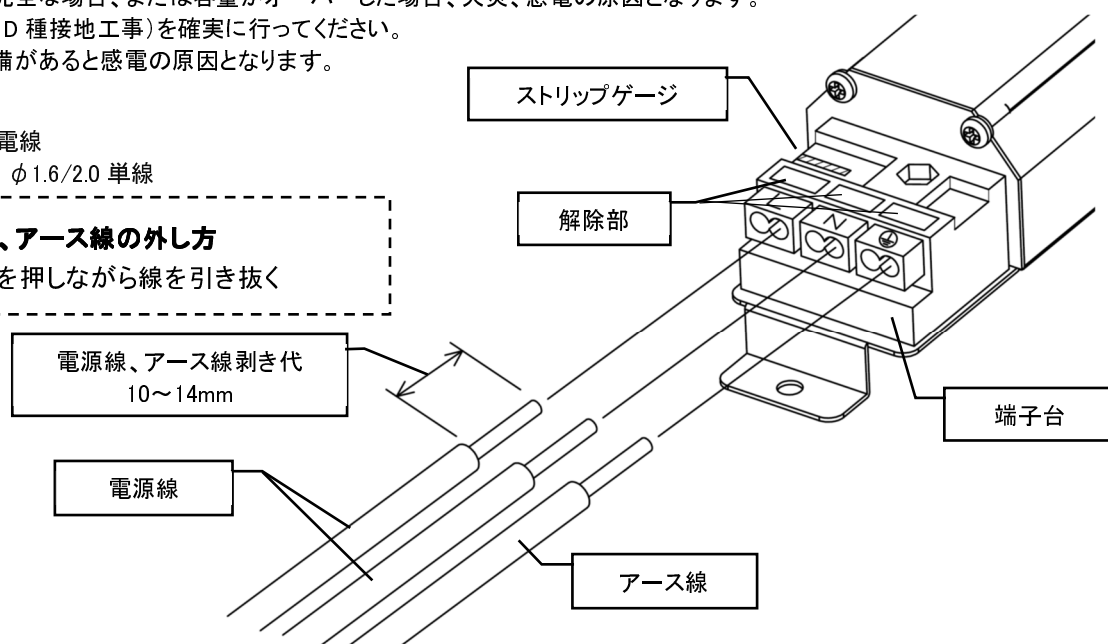


2. 電源線とアース線を接続する。

- ・ 電源線とアース線を埋込穴から引出し、ストリップゲージに合わせて電源線、アース線の被膜をむき、電源線を端子台のL、N端子に、アース線をアース端子に接続してください。また各線を交差させたりしないでください。
- ・ 電源線とアース線は差し込み穴に確実に差し込んでください。
- ・ 挿入後、引っ張って抜けないことを確認してください。
- ・ 端子台の送り容量は 20A です。
接続の不完全な場合、または容量がオーバーした場合、火災、感電の原因となります。
- ・ 接地工事(D種接地工事)を確実に行ってください。
接地に不備があると感電の原因となります。

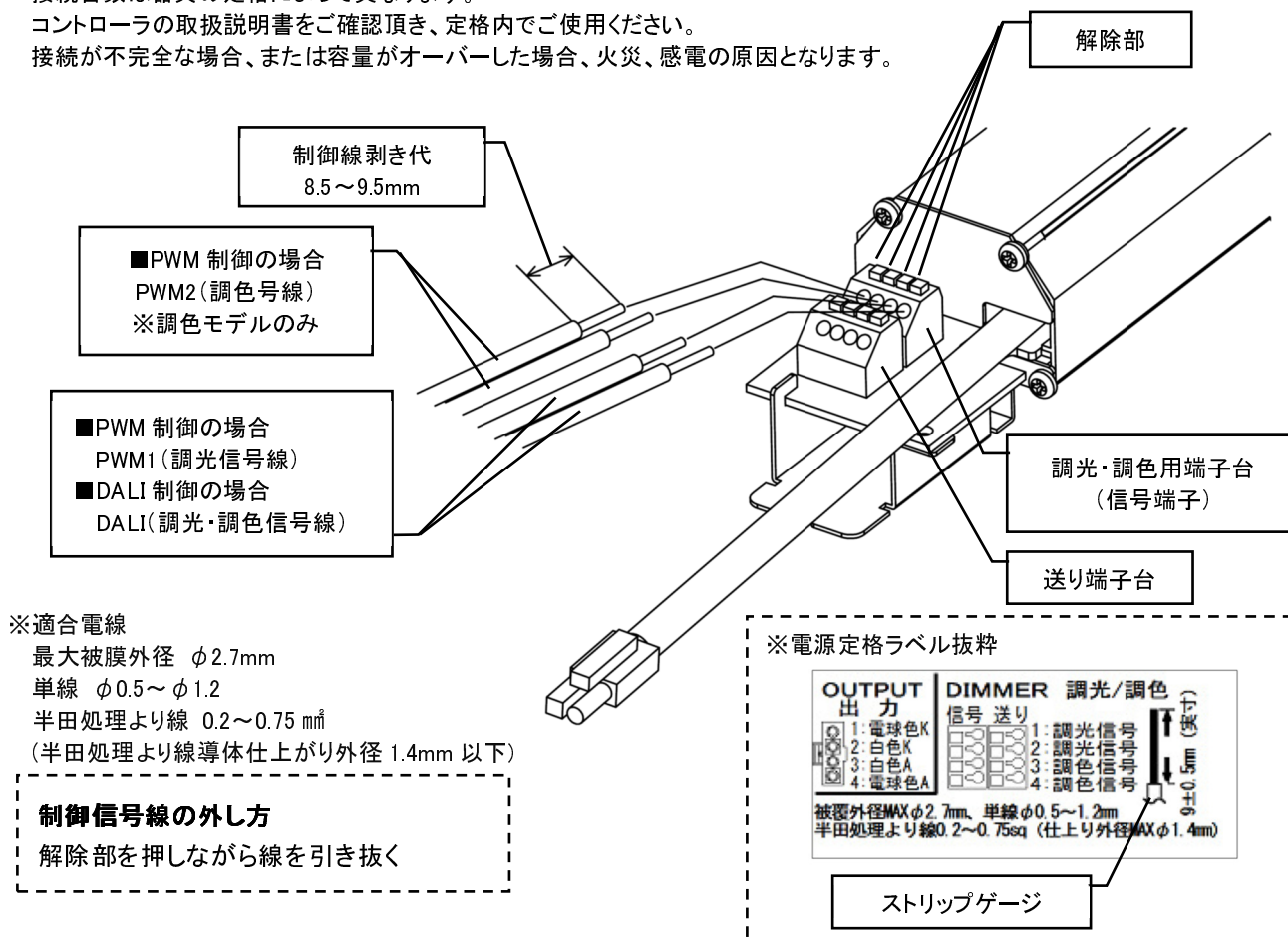
※適合電線
VVF $\phi 1.6/2.0$ 単線

電源線、アース線の外し方
解除部を押しながら線を引き抜く



3. 制御信号線を接続する。(調光機能付き電源をご使用の場合)

- ・制御信号線を埋込穴から引出し、ストリップゲージに合わせて被膜をむき、調光・調色端子台の差し込み穴に確実に差し込んでください。ストリップゲージは電源の定格ラベルに表記しております。
- ・制御信号線は電源線と束ねないでください。誤動作の原因となります。
- ・挿入後、引っ張って抜けないことを確認してください。
- ・接続台数は器具の定格によって異なります。コントローラの取扱説明書をご確認頂き、定格内でご使用ください。接続が不完全な場合、または容量がオーバーした場合、火災、感電の原因となります。



制御信号線の外し方

解除部を押しながら線を引き抜く

4. 落下防止ワイヤーの取付

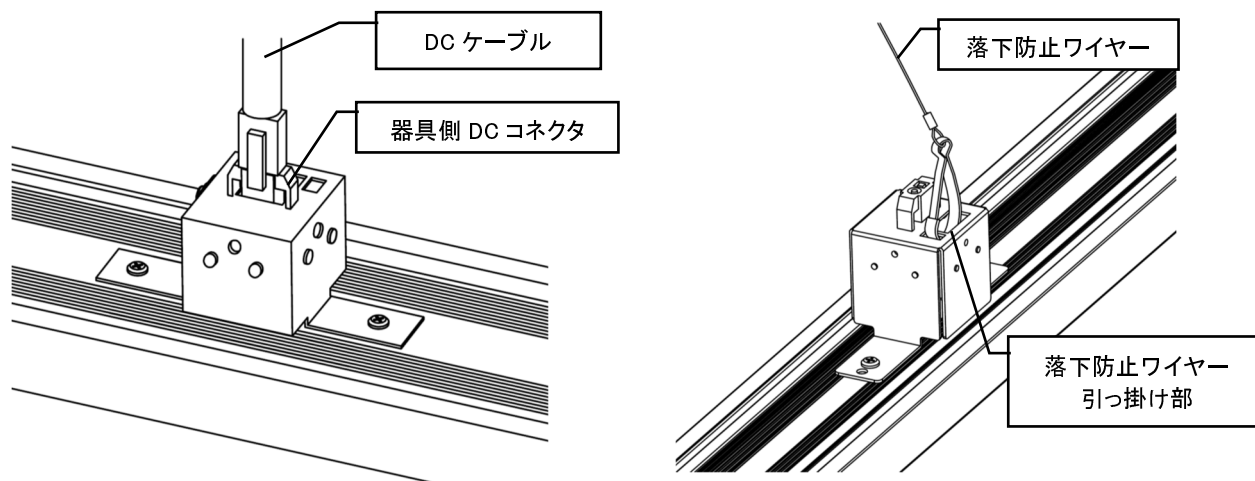
- ・同梱してある落下防止ワイヤーを造営材に取り付ける。
- ・器具背面のコネクタ金具に落下防止ワイヤーを取り付ける箇所がありますので引っ掛け部にワイヤーが届く位置に施工してください。

5. 電源ユニットを天井裏に設置する。

- ・電源ユニットを天井裏に設置してください。その際、電源を横転、裏返った状態で設置しないでください。
- ・電源ユニットにものを載せたり、覆ったりしないでください。火災、発火の原因となります。
- ・端子台の入線部分が上側を向かないように設置してください。トラッキングによる火災、発火の原因となります。
- ・電源を挿入する際、端子台部分、制御信号線にストレスを加えないようにしてください。破損や誤動作の原因となります。

6. コネクタ、落下防止ワイヤーを接続する。

- ・落下防止ワイヤーを器具のコネクタ金具に引っ掛ける。
落下防止ワイヤーは確実に引っ掛けてください。不備があると器具落下の原因となります。
- ・通電する前に器具側の DC コネクタと電源の DC ケーブルを接続してください。
DC ケーブルのコネクタがロックされる迄、確実に差し込んでください。
- ・DC ケーブルを差し込む時は必ず器具を手に持った状態で接続してください。
本体を設置材に取り付けた状態で作業すると器具を落下させる恐れがあります。
- ・通電した状態でコネクタの抜き差しをしないでください。故障の原因となります。
(コネクタ接続前に通電すると安全機能が働きます。一旦電源を切り、再度電源を入れてください。)

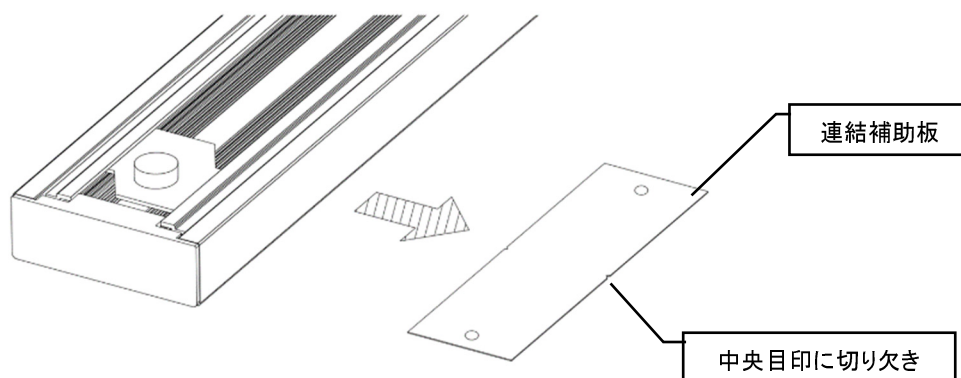


7. 本体を取り付ける。

- ・設置する天井面及び器具にゴミ、異物の付着が無い事を確認ください。
ゴミ、異物がある場合は必要に応じて清掃ください。
- ・吸着力は設置材の仕様により異なります(推奨:板厚 1.0mm~9.0mm の鋼材)
- ・器具についている落下防止ワイヤーを造営材へ取付けて器具背面の磁石を設置材に合わせて取り付ける。
不備があると器具落下の原因となります。
- ・ワイヤー使用時、ワイヤーのたるみが 50mm 以内となるように施工してください。
たるみが大きいと器具が外れて落下防止ワイヤーが機能した際に落下距離が延びる事により人への接触によるケガの恐れ、落下衝撃の増加による器具落下の原因となります。

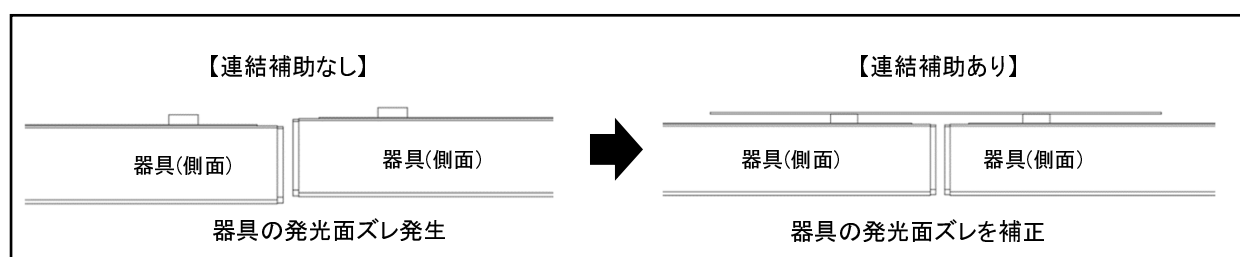
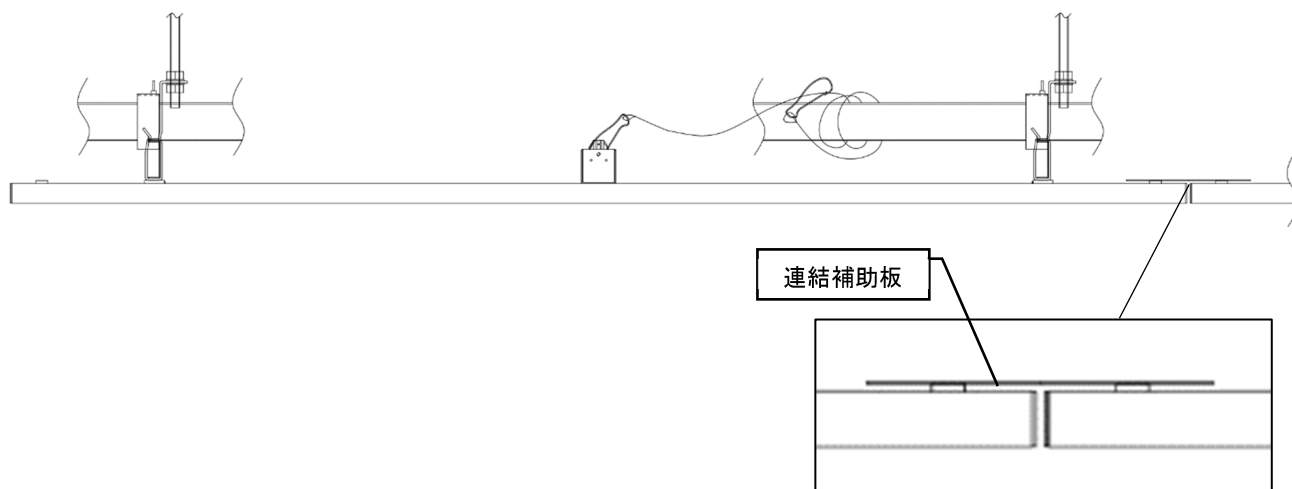
●連結補助板を器具から外してください

- ・器具背面に付属してある連結補助板を横にスライドして器具から外してください。
※連結補助板は器具背面のマグネットに吸着しておりますので横にスライドさせて取り外してください。
無理に外すと板が変形して本来の機能を損なう恐れがございます。



●器具取付用マグネットの位置にのみ吸着用の設置材がある場合

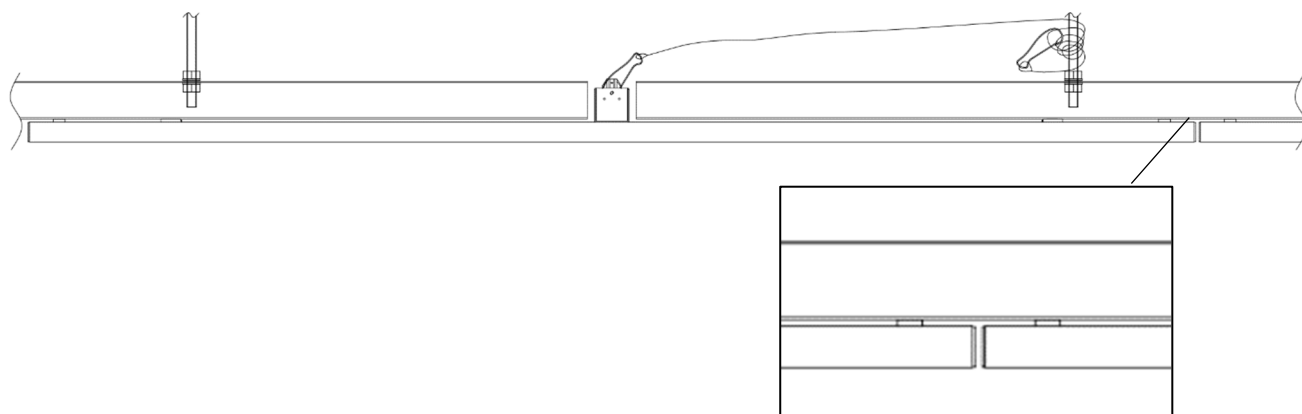
- ・器具取付用マグネットが設置材の全面に接する様に器具を取付けてください。
- ・器具を連結する場合は、器具同士の継ぎ目と連結補助板の中央目印を合わせて連結補助板を器具背面に設置してください。連結補助板の位置が大きずれると、磁石との吸着面が少なくなり本来の機能を損なう恐れがあります。
- ※連結補助板は器具同士の端部の高さを揃えるものであり、器具全体の高さを矯正するものではありません。
- 器具全体の高さを揃えたい場合は、取付用マグネットの設置材の吸着面と同じ高さに、連結用マグネットの吸着面を準備してください。



※使用される環境によっては効果に差がでる場合もございますが不良ではございません。

●連結用マグネットの位置にも吸着用の設置材がある場合

- ・取付用マグネットと連結用マグネットが吸着する設置材の高さを揃えて下さい。
- 高さがずれていると器具の高さずれにつながる恐れがございます。
- ・器具取付用マグネットと連結用マグネットの全面が設置材に接する様に器具を取付けてください。
- ・連結補助板は使わないでください。連結補助板の厚み分、器具の高さがずれてしまいます。



連結補助板は使用せず
直接連結用マグネットを設置材に取りつけてください。

取付方法 ② 通常天井へ取り付ける場合

警告

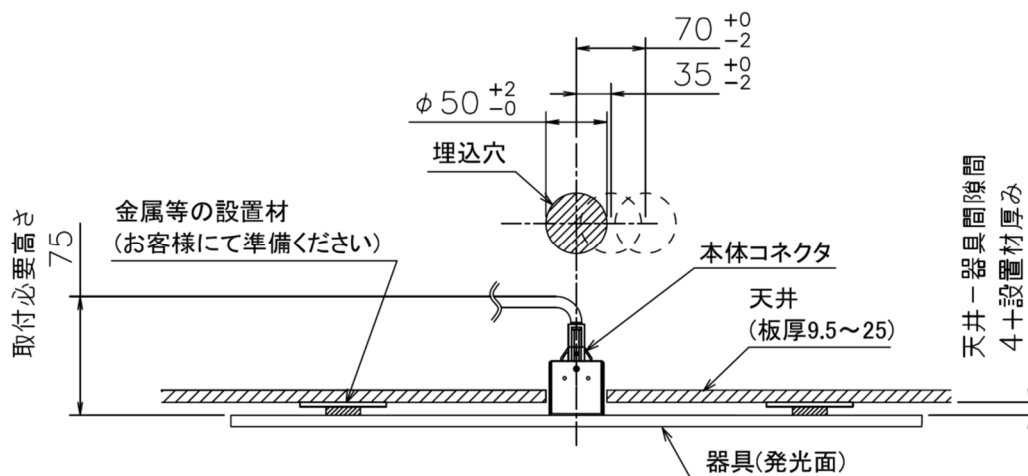
- 器具の取付け取外しの際は工事店に依頼し、必ず電源切って行ってください。
- 器具の取付けは説明書に従い確実に行ってください。

1. 取付け前の確認を行う。

- ・器具質量 0.85kg、電源質量 0.5kg に耐える様、取付部の強度を確保してください。
不備がありますと器具落下の原因となります。
- ・器具、電源が適合した組合せかを確認してください。
- ・器具のマグネット間隔に合わせて取り付ける金属等を準備してください。
- ・器具を取り付ける金属等の野縁材の設置面は凹凸、歪み、汚れ等、吸着力が低下する状態で無い事を確認してご使用ください。

2. 天井に埋込穴をあける。

- ・不備がありますと器具落下の原因となります。
※精度良く埋込穴をあけるのにダウンライトカッターをおすすめします。
- ・器具の取り付けに高さ 75mm が必要となります。
※L900mm タイプは本体コネクタが器具の中心ではございません。
必ず仕様図をご確認頂き、本体コネクタ部を中心に埋込穴を施工してください。
- ・電源を埋込穴から挿入する場合、460mm の天井懐高さが必要となりますが、
電源を挿入する埋込穴に追加で $\phi 50$ の穴加工を施すことにより、必要な天井懐高さを低くすることが可能です。
1 個穴加工を追加した場合、必要な天井懐高さは 290mm、2 個追加した場合は 210mm となります。



3. 電源線とアース線を接続する。

→本書 6 ページに記載の取付方法① 造営材へ直接取り付ける場合 の2. をご参照ください。

4. 制御信号線を接続する。(調光機能付き電源をご使用の場合)

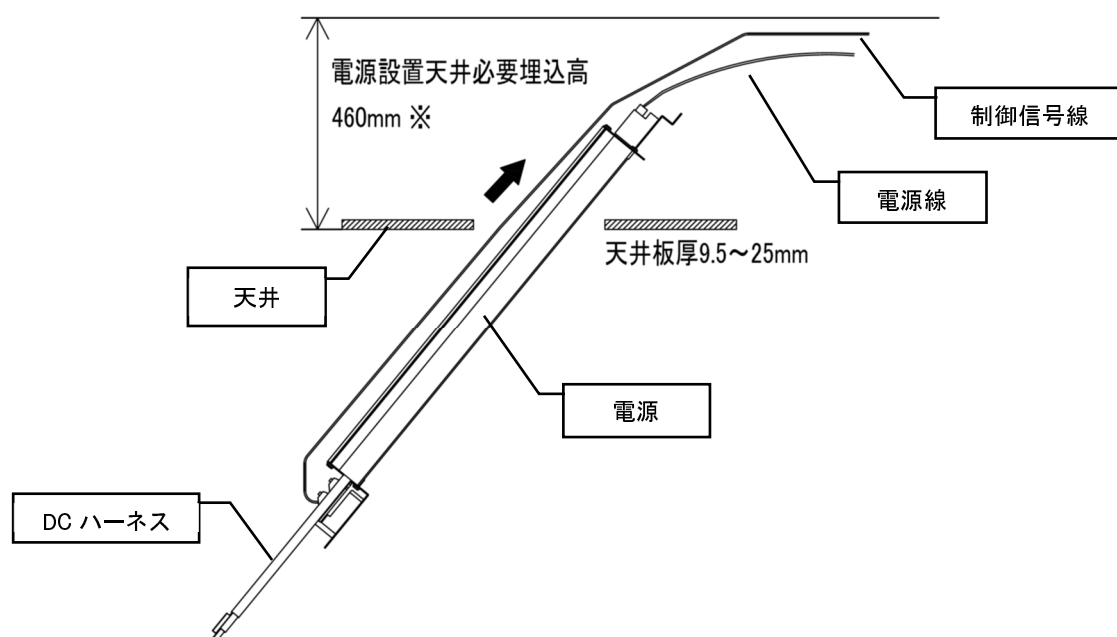
→本書 7 ページに記載の取付方法① 造営材へ直接取り付ける場合 の3. をご参照ください。

5. 落下防止ワイヤーの取付

→本書 7 ページに記載の取付方法① 造営材へ直接取り付ける場合 の4. をご参照ください。

6. 電源ユニットを天井裏に設置する。

- ・電源ユニットを埋込穴に挿入する。
- ・電源を天井下から挿入して設置する場合には天井埋込高 460mm が必要となります。
※追加で $\phi 50\text{mm}$ の丸穴加工を施すことより天井埋込高を低くすることが可能です。
詳細は本書 9 ページに記載の **2. 天井に埋込穴をあける。** をご参照ください。
- ・電源ユニットにものを載せたり、覆ったりしないでください。
火災、発火の原因となります。
- ・端子台の入線部分が上側を向かないように設置してください。
トラッキングによる火災、発火の原因となります。
- ・電源を挿入する際、端子台部、制御信号線にストレスを加えないようにしてください。
破損や誤動作の原因となります。



7. コネクタ、落下防止ワイヤーを接続する。

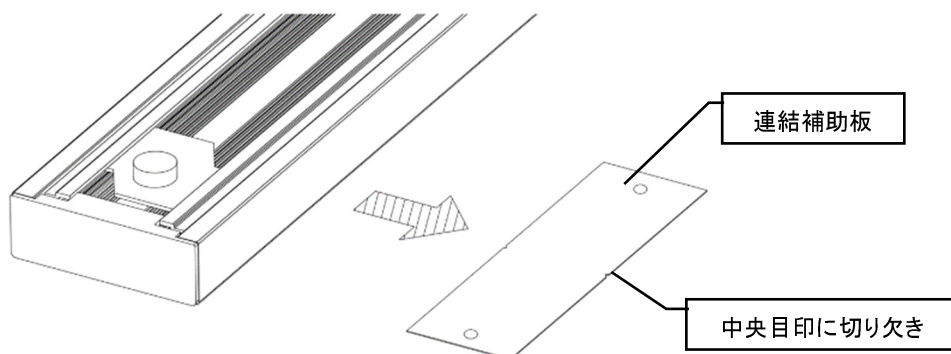
→本書 8 ページに記載の**取付方法① 造営材へ直接取り付ける場合** の**6.** をご参照ください。

8. 本体を取り付ける。

- ・設置する天井面及び器具にゴミ、異物の付着が無い事を確認ください。
ゴミ、異物がある場合は必要に応じて清掃ください。
- ・吸着力は設置材の仕様により異なります(推奨:板厚 1.0mm~9.0mm の鋼材)
- ・器具についている落下防止ワイヤーを造営材へ取付けて器具背面の磁石を設置材に合わせて取り付ける。
不備がありますと器具落下の原因となります。
- ・ワイヤー使用時、ワイヤーのたるみが 50mm 以内となるように施工してください。
たるみが大きい器具が外れて落下防止ワイヤーが機能した際に落下距離が延びる事により人への接触によるケガの恐れ、落下衝撃の増加による器具落下の原因となります。

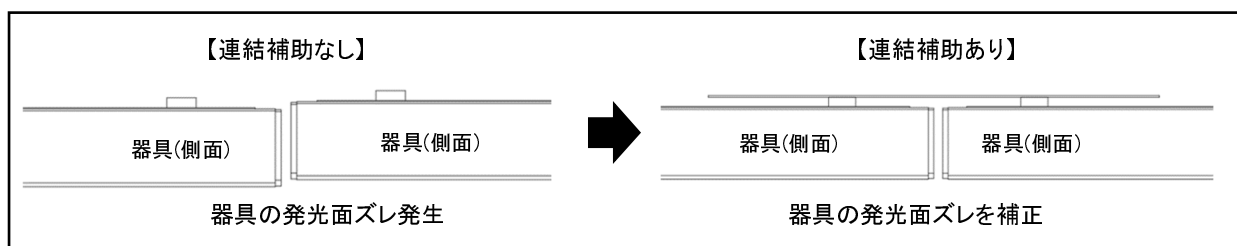
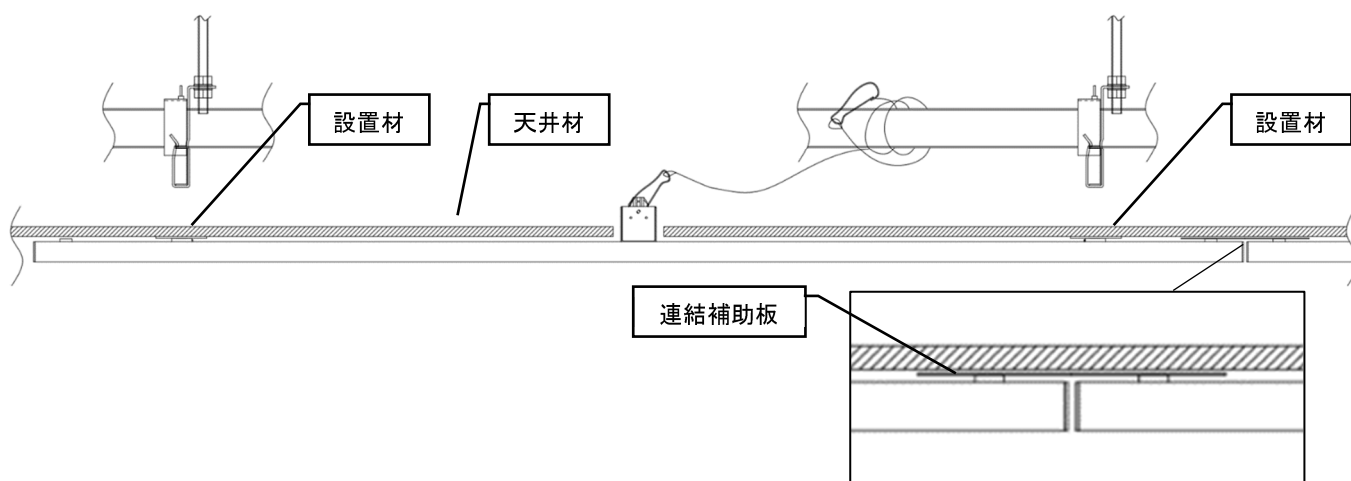
●連結補助板を器具から外してください

- ・器具背面に付属してある連結補助板を横にスライドして器具から外してください。
※連結補助板は器具背面のマグネットに吸着しておりますので横にスライドさせて取り外してください。
無理に外すと板が変形して本来の機能を損なう恐れがございます。



●連結用マグネットの位置にも吸着用の設置材がある場合

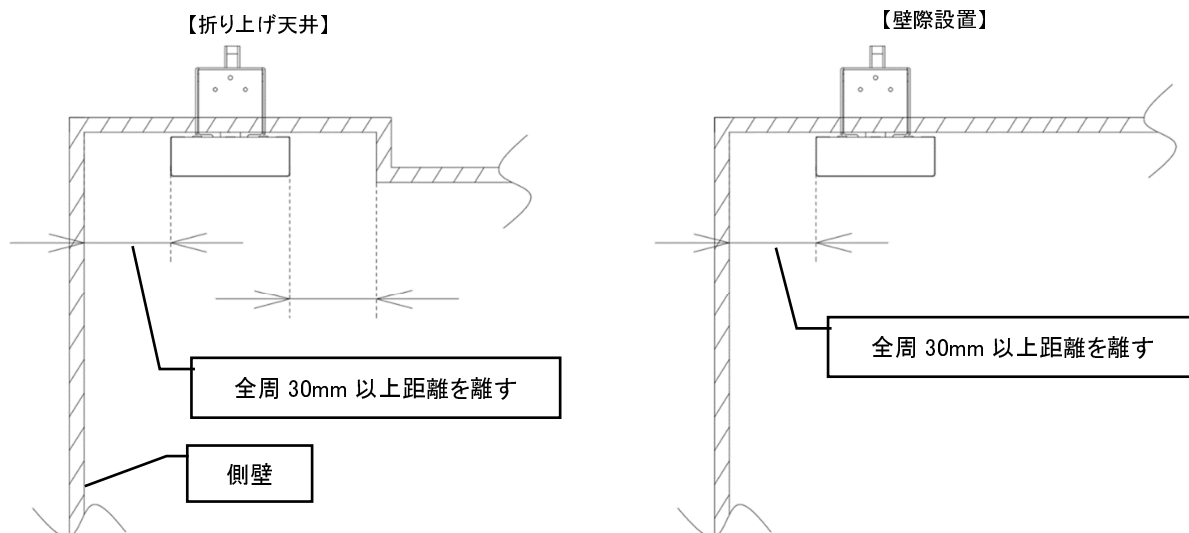
- ・器具取付用マグネットと連結用マグネットの全面が、設置材に接する様に器具を取付けてください。
- ・器具を連結する場合は、器具同士の継ぎ目と連結補助板の中央目印を合わせて連結補助板を器具背面に設置してください。
連結補助板の位置が大ききずれると、磁石との吸着面が少なくなり本来の機能を損なう恐れがあります。
※連結補助板は器具同士の端部の高さを揃えるものであり、器具全体の高さを矯正するものではありません。
器具全体の高さを揃えたい場合は、取付用マグネットの設置材の吸着面と同じ高さに、連結用マグネットの吸着面を準備してください。



※使用される環境によっては効果に差がでる場合もございますが不良ではございません。

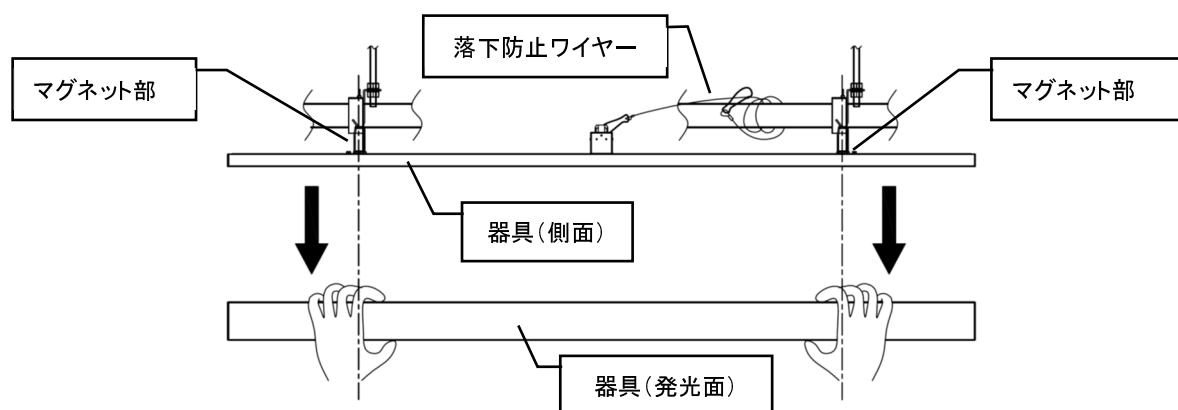
◆壁際、折り上げ天井への器具取り付けのご注意

- ・壁際、折り上げ天井へ取り付けの際には器具全周 30mm 以上を壁から離してください。特に長手面から 30mm は器具を取り外す際の空間として必要となります。
- ・距離が確保されていない場合、本来の取外し方法で外せなくなり、本体の破損、天井材の破損の原因となります。
- ・短手面においても温度変化による器具の膨張影響を吸収できなくなり、器具の破損の原因となります。

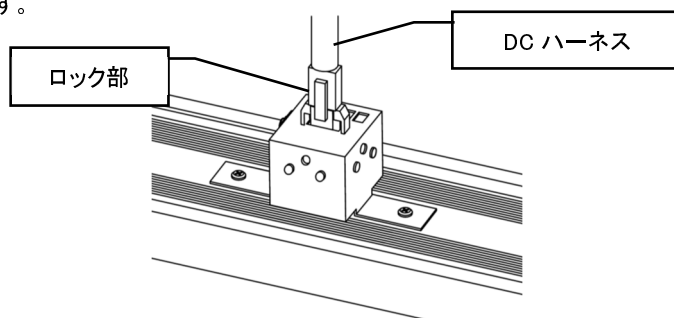


取外し方法

- ・電源を切ってください。
- ・器具のマグネット部を目安に側面を両手で掴み矢印方向に引いてください。引くことによりマグネットが設置材から外れますので落下防止ワイヤーを外して器具を取り外してください。この際、外れ難い場合は器具を長手方向にスライドさせて背面のマグネットを設置材からズラす事で外れやすくなります。器具を落下させないように必ず手で持って作業してください。落下、破損の原因となります。



- ・器具背面に挿入されている DC ハーネスのロック部を押しながらコネクタを抜いてください。この際、器具を落下させないように器具を手にもって作業してください。破損、落下の原因となります。



お手入れ・清掃方法



警告

- お手入れの時は、必ず電源を切ってください。
 - 器具のカバーは樹脂製のため、取り扱いに注意してください
 - 点灯中や消灯直後は器具やパネルが高温のため、触らないでください。
-
- 器具を清掃する際は、乾いた柔らかい布、水で浸した柔らかい布をよく絞ってから拭いてください。
 - 器具をいためますので、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの薬品で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
 - 金属部分をクレンザーやたわしで磨かないでください。傷や腐食の原因となります。
 - 器具を水洗いしないでください。故障、感電の原因となります。

保証について

- 本製品の取り扱いの注意書きなどに従った正常なご使用条件のもとで万一故障した場合は、本保証規定に従い、製品の修理又は交換を実施させていただきます。
- 本製品の故障または使用により生じたお客様の直接の損害につきまして当社は責任を負いません。
- 保証期間はご購入日より1年間となります。
 - ※保証期間の例外
 - 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。
- 保証期間内であっても、次の場合には対象外となります。
 - (1)輸送もしくは移動時の落下、衝撃またはその他のお客様のお取り扱いが適正でないために生じた故障または損傷。
 - (2)地震、風水害、津波、落雷、噴火、その他の天災地変などの自然災害、火災、公害、外来の事故または、その他不可抗力もしくは虫、鳥、ネズミ等の動物に起因する場合。
 - (3)本製品の設置条件、使用方法及び注意事項に反したお取り扱いにより生じた故障または損傷。
 - (4)本製品をお客様のご都合で改造・修理されたことに起因する故障または損傷。
 - (5)本製品周りの掃除等、取扱説明書に記載した設置環境の状態維持を著しく怠ったことに起因する場合。
 - (6)取り扱い説明書に記載してある以外の使用電圧(電源・周波数)で使用した場合。
 - (7)経年変化または通常の使用状態により発生した変色、音、振動、錆、キズ。
 - (8)交換した製品の所有権は、当社に帰属します。
 - (9)保証内容は日本国内において有効です。
 - (10)本製品の無償交換は1個単位となりますが、保証期間の変更は致しません。
 - (11)保証期間の経過後又は本保証の対象外の交換や修理については、有償となります。
 - (12)設置固定型以外の使用用途、又は常に振動や衝撃の加わる場所へ設置した場合の故障。
- 補修用性能部品の保管期間

弊社はこの照明器具の補修用製造部品製造打ち切り後、6年間保有しています。

補修用性能部品には、同等機能を有する代替え品を含みます。

お問い合わせ先	
---------	--